

第 10 回倉吉市教育委員会 定例会 会議録

- 1 日 時 平成 27 年 8 月 19 日 (水) 午後 3 時
2 場 所 倉吉市役所 第 3 会議室
3 出席者 14 人 (教育委員 5 人、事務局 9 人)

会 議 の 経 過

- 1 開 会 午後 3 時
委 員 長 議事に入りますが、初めにお断りします。学校教育審議会に今諮問がしてあり、その答申をこの委員会の当初にいただくようにしていたが、小谷会長が会議の都合があり、30 分程度遅れるようなので、議案の第 18 号から 19 号、それから協議事項の小・中学校の適正配置については関連したことから、答申を頂戴してから合わせて協議させていただきたいので、議案の順番が変わるがご了承いただきたい。なお、来られた段階で答申を頂戴して報告させていただくことになるので、よろしくお願いします。

2 議 事

(1) 議案第 17 号 平成 27 年度教育費補正予算について

教育総務課長 (資料に沿って説明)

学校教育課長 (資料に沿って説明)

委 員 長 バスは高いものですね。

教 育 長 バスは中型になったので、マイクロであればもう少し半額、800 万円くらいだと思うが、40 人乗りのためこういった金額になった。

委 員 長 中型バスは入れますか？

学校教育課長 想定したルートは大丈夫だと確認している。

…承認

(2) 議案第 20 号 平成 28 年度から使用する中学校教科用図書の採択について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

委 員 長 今日の新聞に、自民党が各県議会議員に、今の安倍政権に沿った形の教科書を採択するようにパンフレットみたいなものを配っているというようなことが記事に出ていた。そういうことは無かったと思うが、教育は独立しているということを目の当たりに記事を見て感じて、強い政権に左右されずにきちっと子どもを前に置いて教科書の採択が出来る、独立した教育委員会らしい制度だと改めて感じた。採択というか審査していただいた先生方はあまり変わっていない

ですよ？

学校教育課長 委員が1市4町の教育長5名、それから中部地区小中学校の校長会長ひとりずつ、PTAの小学校代表、中学校代表ひとりずつで合計9名。教育長は、去年の小学校の教科書の採択協議をされた方と同じだが、校長会長の代表はかわられている。保護者の方は新しく委員になられた。

委員長 これだけ科目が違うが、科目毎に専門の先生が出られるわけではない？

学校教育課長 調査員が4～5人集まって見比べ、そして調査報告書を作る。それを代表が採択協議会の委員の前でそれぞれの特徴を伝えると、場合によっては、中部の子どもたちに適した教科書はどういう傾向のものがいいか意見を求められることもあるし、こういうところは一長一短でと協議会に預けられるところもあった。

委員長 委員会では全会一致で決められる？

教育長 これを1市4町の教育委員会に持って帰っていただき、結果がいいかどうか承認を受ける。もしいけなかったら再度集まってやり直すという作業が必要になる。それぞれ1市4町の代表という形で教育長が出て、そして学校とそれから保護者の代表の方と採択協議委員会を定めて調査員に依頼し、その調査員の報告でやりとりをしながらやってきたものです。

…承認

委員長 ここで学校教育審議会より答申を受けたいと思いますので、休憩に入ります。
<答申> 学校教育審議会 小谷会長より藤田教育委員長へ「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」の答申文が手渡された。

委員長 再開します。議案第18号、第19号は学校統合に関連する議案のため、一括で提案をお願いします。

(3) 議案第18号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例及び倉吉市公民館条例の一部改正について

(4) 議案第19号 倉吉市教育委員会公印規則及び倉吉市立小学校及び中学校の校区に関する規則の一部改正について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

委員長 参考までだが、公民館地区は？

生涯学習課長 関金地区においては、山守小学校区、関金小学校区両方2つで関金地区という公民館組織で、地区全体での組織が出来ている。そういったことを踏まえ今回に関しては異動がない状況。

学校教育課長 今まで14小学校区に13公民館。(地域の方は)小学校が統合すると公民館も一緒になるというような取り違いがあるかもしれないが、そういうことは方針として全く持ち合わせていない。ここが特別な公民館のエリアだったということ。

…承認

3 協議事項

(1) 倉吉市立小・中学校の適正配置等について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

委員 全体のスケジュール案の中で、子どもたちが何年後には何人になるという数字がある程度出ているが、地域の方に説明したときにはどういう反応があったでしょうか。

教育長 関金・山守は統合ということだが、上小鴨、灘手の方は、人数の問題ではない、今十分いい教育が出来ているのになぜそれを統合する必要があるのか、と言われる。中にはいやこれでは、という方もあるかもしれないが、それは表には出てこない。6月16日に山守小学校の方を船上小学校にご案内したが、やはり学校はこうでないといけないと、今の山守小学校の学校全体で33人というのは学校の体をなしていないということを言われて、保護者の方が、それは言い過ぎではないかとあったが、正直なところは、それを分かってもらえたかと感じた。そののちを分かってもらえる努力をしなければいけないと思っている。

委員 私たちも学校訪問をさせていただいているが、やはり小規模校から中規模校、大規模校ですごく差があると肌で感じる。確かに人数が少ないから行き届いた教育が出来るかもしれない、でもやはり少し違う、そういうところを地域の方や今のPTAが分かっておられないと、小規模校が今の状況で十分だと頑として統合するという考え方は生まれてこない気がしている。本当にぐんと(児童数が)少なくなってしまう。その辺のところを分かってもらう努力が必要。

委員長 上小鴨も灘手もPTAとしてやはり反対という強烈なメッセージをいただいていますか？

学校教育課長 上小鴨小学校は、PTAでもアンケートを採られて反対という意見が多かった。7割から8割、ただ校長曰く、統合した良さが具体的にあまり分かれられないのではないかと、先程教育長が申しましたように結局現状で何が困るのかという感覚でおられる状況なので、先を見たときに、まだ100人弱、これから6、7年後には60人代になって、複式ということも考えなくてはいけない。そういう現実はあるが、今とりあえずこれで行き届いた教育をしてもらっている、わざわざ学校をひとつにして何がよくなるのかというような気持ちでおられる。

その辺りが大規模校で、例えば複数学級の良さだとかそういうことを感じられた方がないと思うので、その辺りもう少し説明していかなくてはいけないのではと思う。関金・山守も統合して複数学級になるわけではないが、その中で人間関係、学びというものを保証していけるという良さが多々ある。

委員長 小規模校の方を説得するには、やはり今言われたように大規模校の良さを少しでも勉強してもらおう。そうすると学校訪問みたいなことも役員さんにしてもらって、PTAに今言われた統合の良さというものを自分たちで体験させていただいて肌で感じてもらわないと動かしようがないかと思う。地域は絶対反対でしょうし、本当に子どもたちをどう育てるか、これからの社会に、それを真剣

に考えてもらう機会になれば、我々が学校訪問の際、違いを垣間見たように機会があればもう少し理解してもらえるとこの気がするが。

委員 地域の方は反対だから自分たちで何か動きをするということはないですか？
教育長 こちらが動けばそれに対するアクションは起こされるでしょう。そろそろし
ないといけないだろうと思う。関金・山守が動き、考えてみれば23年から足か
け5年。それを動かした以上、次の方向性を示さないといけないと思うので、
出さざるを得ないだろうという思いがある。例えば明倫・成徳は耐震化したの
で、ここで中断、あるいはこれで凍結しましょうという意見もあるが、並行し
てやるということで、一年ズレの段階で32年の計画のところ、1年余裕を見て、
本当になるかどうか分からないが、しかしこういうものは示しておく必要があ
るだろうと。

委員 今のままで良いのに、なんで変えなくてはいけないんだという空気できてお
られるが、もう今の手厚いままでこれから先はできない、現状維持はできない
から、変えていかななくては財政的にも人口的にも無理なので、だから変えよう
と言っていくことが必要。

委員長 少なくともPTA自身の賛成反対が拮抗するくらいの状態までムードを盛り
上げてというか、少人数ではない良さ、大規模、適正規模の良さを理解してもら
うようにしないとイケない。そういう、統合よし、ばかりではなく反対・慎
重派もあるかもしれないが、本当に子どものためにどうなんだという、そうい
ったしっかりしたシンポジウムでもパネルディスカッションでもやって、保護
者、PTAの心をもう少しきちっと捉まえていかないと、地域の住民の理解が
まだ不十分だと言われてしまいそうだし、今困って将来を考えるのはおじい
ちゃんおばあちゃんではない、保護者の方々なので、そこがやっぱり必要だとい
う具合に、何か納得できるような講演会でも出来たらと思う。もちろん統合あ
りきで押しつけるとそれは問題だろうが、客観的にきちっと納得した話が出来
るような方がいらっしゃるといいと思って、そういうことを考えていかないと
いけないかと思うが。

学校教育課長 財政課からも実は事業の見直しということで宿題をもらっている。少人数学
級、大規模校の35人学級、33人学級を進めて行くにあたって、国基準と県基準
のズレを200万円投入している。一方、複式(学級)解消のために500万円の
協力金として、今年度灘手、北谷、山守が2学級ずつ、4学年が対象になって
いて、それを解消するため2人ずつ入り、一人500万円なので3000万円市費か
ら出ている。これに関わっては交付金も補助も一切なしに単純に県と市のやり
とりの中で県にお願いしている状況。その辺りを財政としてはもう少し整理し
て、少人数学級の方は大規模校の1学級の人数を少なくするために増やすとい
うような教員配置なので、そちらの方は続けていきたいし、全県でもそちらの
方はやっている。複式解消に関わっては、やっているところともう手を引いて
いるところがあって、この統廃合の進捗の中で期限をもう決めて欲しいと、10

人弱に 500 万円ということになるので、そういうことを P T A の方はご存じかということまで財政からは宿題をもらっている。脅すというようなことではなく、今までそれを当たり前のようにやってきたが、これ以上難しい状況がきていることも知って頂きながら、倉吉市の子どものこと全体で考えていかなくてはいけないと思う。

委員 今言われたように、やはり財政的なことは普通の方はご存じないと思う。平等と言いながらもそういう状況もあり、それは人数が少ないから仕方ないけれど、でもそれを解消していくということ、今課長が言われたようなことはすごく大事なことだと思う。もう一つ気になっているのは、この準備委員会で保育園の方の欠席が多いということ。灘手なども保育園、少ないと思うが、そういう方はこれからそういうことに関わってこないといけないけれども関心があまりないのかなと思う。やはりこれから子どもたちが小学校に行く年代の保育園の人にも理解してもらわないと、他人事になってしまって、その辺りのところも掘り下げていかないと、それこそ先程委員長が言われたように年齢が高い、今まで知識とかいっぱい聞いておられた方が意見をしっかりと言われると若い方は言えない部分もある。陰で聞こえてくるのは不安で、鴨川中学校へ行くよりも大規模の西中へ行きたいという事も聞く。だから P T A としてはそういう気持ちがあるけれども言えないところがあるので、そういうところも突っ込んでいかないといけないのではないかと感じている。

委員長 そういった機会があれば、保育園の保護者さんにも参加していただいて一緒に研修したり勉強していただく機会を。

委員 今灘手保育園はどうなっていますか？山守は保育園が統合してしまったので、また小学校で別れるのも、という話になったが、灘手もいずれはそうなるのかなという気もする。今現状がこのままで何が悪いとなってしまうている。保育園自体も相当少ない。その少ないままで保育園、小学校へ行って、中学校でいきなり大人数。今中学校に行かれた保護者さんがそれで困っていないと思っておられるのかどうかということも考えたりするし、いきなり大人数の中学校に入れるのではなく、小学校くらいから少しずつ増えていくと中学校もすんなり行くのではないかというような意見があって、子どもを見てやはり人数が多い方が良いかどうかという話になると思うが、そういう意見が出ていない。

教育長 うちとしてはやっぱりある程度子どもたちが大きい集団でやっていきたいと思う。少なくとも 5，6 年生はそうでしょう。では 1，2 年生はどうか、分校を置いた方が良いのか、という迫り方もあるのかと思う。そのうちやはり一緒にした方がよいという話になるかもしれないし、財政的には全く意味のない話だが。少なくとも 5，6 年生あるいは 4，5，6 年生にとっては対外的なスポーツのこともなども含めるならばやはり大きな集団で、ということが必要だと力説していくしかないと思う。

委員 P T Aの方からあったが、バレーボールしたくても出来ない、サッカーも出来ない、少し大きい規模になるとある程度クラブも出来るので、そういうことも考えていかななくてはいけない、というのは直接言われる。そういうものは、人数が少なければ絶対何か犠牲にならないといけないし、子どもたちに運動させてやりたいとの方が力説されたように私も感じた。

委員 ある程度の規模であれば、入れようと思えばスポ少にも金管にも入れられて苦勞せずとも子どもたちをそういう場に行かせられるが、小規模でそういうところがない方は、わざわざクラブチームに連れて行かれる方もある。そうなる家庭の体制によっては出来るところと出来ないところと随分差が出来るだろうと思うと、子どもたちを同じように育てたいと思ったときに同じようにやりたいことがずっと出来るような環境を作ってやるというのもひとつある。塾へ行く子行かない子で随分差が出るように、スポーツに関しても差が出来ているのかなと思う。小さい単位、学校だけで終わってしまって、学校と放課後児童クラブだけで人間関係が全部終わってしまうのではなく、そういうもう少し広い中で出来るというのは家庭の力があるかないで、差が出来てしまうのは子どもにとってどうか、いかにたくさんの多様な考え方とぶつかっていけるかというのは、親だけでは出来ないところで学校の力でやっていく、そういうことも保護者に伝えていきたい。

委員 関金・山守の児童、先生方が関金小学校で一緒に 1 日授業をしているというような取組を何度か行われているが、あぁいった取組を例えば成徳と明倫がしてそこに参観日があるとか、そんな形が出来ないかなと思う。地域の方から見れば、そういうことを見据えた云々だろうと言われるかもしれないが、P T Aの保護者、あまり積極的に参加されない保護者の方にも見てもらうためにはそういった参観日のような形を作ったら比較的来やすいというか、来ざるを得ない。そこでそういう大人数の中の環境の自分の子の姿が見られるというのはひとつのお試しというか、そういったものが出来ればと思うが。

教育長 成徳と明倫は出来ると思う。協議会をしていて統合はやむを得ないというところまで来ていて、ただ場所の問題がある訳ですから。成徳と明倫については若干一緒にやっている活動もありましたね？金管バンドでしたか。

学校教育課長 はい。

教育長 やれるところはやります。高城と北谷も相互交流でもう出来ている。あとは灘手と上小鴨。別の話になるが、灘手にしても上小鴨にしてもなかなか人間関係がうまくいなくてそこに居づらいと、湯梨浜の方に進学した子どももいる。人間関係の修復が難しいと一緒になくてもいいというものもあった。灘手でも人間関係の難しさということで報告を受けているものもある。そうしたことももう出していてもいいのかなと思ったりする。よかれと思っておられるかもしれないが、実はこういう事例もある、人間関係が煮詰まってしまうという事例もお話ししてもいいのかもしれない。実際北谷でも報告があった。校長先生方

は早く進めたいというのが正直な気持ち。そういう実態をきちっと、いやでもぶつけていかななくてはいけないという思いでいる。

委員 長 11月の市民シンポジウムに灘手とか小規模校も来ていただいて、山守が切ない思いの中で統合に至ったというようなところをしっかりと見ていただいたら、少しでもみなさんの統合に向けた気分の助長になるかと思う。なんとか上手にコーディネートしてもらわないといけないかと思う。

協議事項は結論というわけにはいかないが、ご説明いただいたお話のとおりこれからも進んでいくということで引き続き協議していきたいと思えます。

教 育 長 このスケジュール案は、今まで出していない。場合によってこれをある程度案として示しながら、しかしそろそろということは議員の方からも言われているし、そういう声は上がってきている。教育委員会の攻めとしてはこれを示して、一応この目安で行くというところを示していく必要があるのではないかと。

委 員 員 実際30年には児童数何名となり、いよいよ大変だとわかってからスタートでは遅い、しっかりと見据えてもらって早め早めにやっていかないといけない。

委 員 長 やはり複式の問題も出さないといけないと思うが、予算獲得は教育委員会の仕事ではあるが、財政サイドから厳しいメッセージを受けているということを知ってもらう必要がある。

教 育 長 市民として納税者として確かに地域の思いというのはわかるが、しかし倉吉市全体のものとして複式学級解消のための費用3000万円の使い方がどういう使い方がいいのか、完全な市費なので、そういうことを議論していくことはあり得る話だと思う。それは考えていかないといけない問題。シンポジウムで例えばこれで3000万円使いますという議論をかけても構わないと思う。

委 員 長 では協議事項は以上で終わりたいと思えます。

4 報告事項

委 員 長 学校教育課の報告のうち区域外・校区外就学の承認、不登校・問題行動の状況については、児童生徒の個人情報が含まれますので、非公開としたいと思います。

また教職員の飲酒運転の報告についても、人事に関する案件のため、非公開で行う事としたいと思います。いかがでしょうか。

各 委 員 (異議なし)

(1) 学校教育課 (学校教育課長 資料に沿って説明)

[以下、非公開]

- ① 区域外・校区外就学の承認について
- ② 不登校・問題行動の状況について

[以下、公開]

- ③ 中学校全国大会・中国大会出場激励会
- ④ 第2回学校教育審議会概要

[以下、非公開]

⑤ 教職員の飲酒運転について（第3報）

[以下、公開]

(2) 生涯学習課（生涯学習課長 資料に沿って説明）

- ① 倉吉市スポーツ振興審議会委員の委嘱について
- ② 平成27年度生涯学習講座の開催について
- ③ 夏休み伝統文化体験教室について（資料なし）

(3) 文化財課（文化財課長 資料に沿って説明）

- ① 倉吉市文化財保護審議会の報告
- ② 鳥飼家住宅・倉吉淀屋利用状況

(4) 倉吉博物館（博物館館長 資料に沿って説明）

- ① 平成27年度第1回博物館協議会の報告
- ② 企画展「館野鴻絵本原画展」事業経過報告
- ③ 「夏休み自然科学展」事業報告
- ④ 倉吉市博物館休館日の変更について

(5) 倉吉市立図書館（図書館長 資料に沿って説明）

- ① 鳥取气象台と協力してイベントを開催
- ② 夏休みイベント今年も人気
- ③ 平成27年7月倉吉交流プラザ・ふれあい広場利用状況

(6) 市民からの声対応状況（学校教育課長 資料に沿って説明）

(7) 教育総務課

- ① 工事請負契約の変更に係る専決処分の報告について（成徳小学校仮設校舎建設（建築主体）工事）
- ② 小鴨小学校増築に伴う陳情書について

委員 地区公民館たよりを見せていただいているが、どこの地区も写真を使ったり、内容も趣味だとか健康関係とかいろいろなものが含まれている。生涯学習課の指導や、各公民館の意識の高まりがあるかと思うが、生きる力というか、趣味をしたりというのはすごく大事なことだが、参加状況はどんなだろうかと、自分が参加するとだいたい同じメンバーが参加されるので、そういう傾向にあるのかと思うが、その辺を次の機会にでも状況を聞かせてもらいたい。広報を見るとどこもすごくがんばっていただいていると思う。

生涯学習課長 次回何らかの形で状況を報告させていただく。各公民館が非常に幅広く、しかも充実した講座・事業をしておられる。それをいい形でもっと出そうと、市のホームページにもリンクして、見やすく、興味を持って頂けるようになるべく前に出している。引き続きそういった形で地区公民館の動きを伝えていきたい。

5 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日時：平成27年9月24日（木）午後3時

場所：倉吉市役所 第3会議室

午後 5 時 終了